

第141回 豊見城市学童軟式野球大会 開催要項 (第14回 ブルーシール旗争奪学童軟式野球大会)

1. 目的 軟式野球に親しむ少年に夢と希望を与え、また軟式野球を通して地域における少年スポーツクラブの振興を図ると共に21世紀を担う少年の心身ともに健全でたくましい育成に寄与することを目的とする。
2. 主催 豊見城市スポーツ少年団
3. 共催 フォーモストブルーシール株式会社
4. 後援 豊見城市教育委員会
5. 期日 令和4年6月4日(土)・5日(日)
※新型コロナウイルス感染症による、感染状況に伴い延期もしくは中止となる場合がありますのでご了承ください。
6. 場所 豊見城市瀬長島野球場
7. 開会式 令和4年6月4日(土) 午前8時30分 瀬長島野球場
※集合場所：瀬長島野球場A球場 ピッチャーマウンド後方
※集合時間：午前8時00分
※新型コロナウイルス感染症による、感染状況に伴い内容の変更もしくは中止となる場合がありますので予めご了承ください。
8. 試合開始時間 1日目：午前9時30分予定：1回戦・2回戦 瀬長島野球場
2日目：午前9時30分予定：準決勝・決勝 瀬長島野球場
9. 参加申込 申込書を、令和4年5月20日(金)午後5時までに、豊見城市スポーツ少年団事務局へ提出すること。メールもしくはLINEでも可
tomitai02@tomitaikyuu.org
10. 参加資格 (1)豊見城市に住所を有している児童で、構成し豊見城市スポーツ少年団に加入しているチーム(2022年度豊見城市スポーツ少年団負担金を納付しているチーム)。
(2)2022年沖縄県野球連盟に登録しているチーム。
(3)2022年度スポーツ安全保険に加入しているもの。
※未提出のチームは、申込み時に、保険加入書の写しを提出。
(4)参加チームは、1チームとする(2チームの参加できない。)
11. 参加料 参加料 4,000円を、豊見城市スポーツ少年団事務局へ納付すること。
12. チーム編成 チーム編成は、原則として自治会別とする。
但し、自治会でチーム編成できない場合、又は監督同士が同意した場合は、その限りではない。
13. 監督会及び抽選会 令和4年5月31日(火) 受付午後7時00分 抽選会午後7時30分
豊見城市社会福祉センター 2階 レク室
※抽選会は監督・主将のみが参加すること。

14. 表彰 優勝チームには、賞状・優勝旗・優勝盾、準優勝チームには、賞状・楯を、三位チームには賞状を授与する。
また、共催のフォーモストブルーシール株式会社より、優勝チームには、優勝旗・メダルを、準優勝チームには、メダルを授与する。
~~なお、入場行進が堂々たる風格の2チームには行進賞を授与する。~~
15. 派遣 優勝チーム・準優勝チームは、沖縄県学童軟式野球大会に推薦する。
16. 運営方法 豊見城市スポーツ少年団役員及び各チームから推薦された審判員で大会を運営する（原則として、審判は、審判講習会を受講した者）。
審判に割り当てられたチームの責任者及び監督は、責任をもって審判を派遣すること。
審判に派遣された者は、審判ユニフォーム、審判用帽子、審判用スラックス紺又はグレー・黒の靴を着用すること。サングラスは禁止。
17. 試合方法 (1) 試合方法は、全試合トーナメント方式とし、6回までとする。
但し、試合開始後、1時間30分経過以降は、均等回完了をもってゲームは終了とする。6回終了して同点の場合は、7回から特別延長戦を2回行い、それでも同点の場合は、抽選を行う。
(2) 試合時間制限は、1時間30分とする。
なお、1時間30分を超えて同点の場合は、新しい回には入らず、直ちにタイブレーク方式とする。なお、2イニングを完了しても決着がつかないときは抽選を行う。

※タイブレーク方式（特別延長戦）

継続打順で、前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁走者とする。
すなわち、0アウト一塁・二塁状態にして、投手の投球制限を遵守の上、勝敗が決するまで続行する。

- (3) 試合開始時間は、主審のプレイボールのコールからとする。
(4) 3回で10点差、5回で7点差の場合は、コールドゲームとする。
(5) 日没、降雨によるコールドゲームは、5回終了で成立する。
(但し、決勝戦を除く)。
なお、5回以前で中止の場合は、豊見城市スポーツ少年団事務局の指定した日時・場所において、継続試合を行う。
(6) アピール権は監督及び当該選手に限り許される。
(7) 監督会、抽選会及び開会式に参加しないチームは失格とする。
(8) 試合球は、(公財)全日本軟式野球連盟公認球内外ゴムJ号とし、大会本部で準備する。
(9) 本大会は2022年度公認野球規則により行う。
また、全日本軟式野球連盟学童野球に関する事項を適用する。
(10) メンバー表は各チームで準備し、試合開始10分前に3部提出する。
準決勝、決勝は4部提出する。
(11) 選手間の試合中でのタイムは、1試合3回までとする。
(12) ベンチに入れる人数は、本大会の申込書に記入した者で、選手20名・監督1名・コーチ2名以内・チーム責任者1名・マネージャー1名・スコアラー1名とする。但し、水分補強の補助員として2名まで入れるものとする。帽子は同一、服装はチームTなどを着用する。半パン、草履履きは禁止とする。
(13) 背番号は0番より99番迄とし、監督は30番、コーチは28,29番とする。主将は10番とする。
(14) ベンチ内でのサングラス禁止とする。
(15) ベンチ内へのイスの持ち込み禁止とする。

~~(16)入場行進の際は、必ずチームユニフォーム・帽子を着用する。~~

(17) 守備の時間が長い場合(概ね 20 分)には、健康維持を考慮し、審判員の判断で給水タイムを設けることとする。(但し、給水タイムは試合時間を含めない。)

(18) 投手の投球制限については、肘・肩の障害防止考慮し、1 人の投手は、1 日 70 球以内を投球できる。試合中に 70 球に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。(但し、4 年生以下は 60 球以内)

学童部・少年部の投球制限について

①70球以内(4年生以下60球以内)

②試合中規程投球数に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。

③ボークにかかわらず投球したものは、投球数に数える。

④タイブレークになった場合、1日規程投球数以内で投球できる。

⑤牽制球や送球とみなされるものは投球数としない。

⑥投球数の管理は、大会本部が行う。

(19) 捕手、控え捕手は、ファウルカップを着用すること。

(21) 今大会は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、以下の注意点を監督・指導者・選手・観戦者とも確実に守って下さい。ご理解ご協力をお願いいたします。

○手指のアルコール消毒を行う。消毒液は、事務局・各チームにて準備して下さい。

○観戦者は、マスク着用です。マスクは各自で準備して下さい。

○応援は、大声を出したりすることは禁止いたします。鳴り物も禁止致します。観戦に徹して下さい。(ベンチ内)

○観戦時、隣の人との間隔はできる限り空けてください。開けられない場合は、その限りではない。

○その他、「豊見城市スポーツ少年団感染拡大防止対策措置に伴う活動実施について(通知)」に準ずる。

2022年度 豊見城市学童軟式野球4年生以下交流大会 開催要項

1. 目的 軟式野球に親しむ少年に夢と希望を与え、また軟式野球を通して地域における少年スポーツクラブの振興を図ると共に21世紀を担う少年の心身ともに健全でたくましい育成に寄与することを目的とする。
2. 主催 豊見城市スポーツ少年団
3. 期 日 令和4年6月11日(土)・12日(日)
※第141回豊見城市学童軟式野球大会を優先して行います。
4. 場 所 瀬長島野球場
5. 開 会 式 令和4年6月4日(土) 午前8時30分 瀬長島野球場
※集合場所：瀬長島野球場A球場 ピッチャーマウンド後方
※集合時間：午前8時00分
※新型コロナウイルス感染症による、感染状況に伴い内容の変更もしくは中止となる場合がありますので予めご了承ください。
6. 試 合 開 始 時 間 1日目：午前9時 2日目：午前9時
※第141回豊見城市学童軟式野球大会を優先して行います。
7. 参 加 申 込 申込書を、令和4年5月20日(金)午後5時までに、豊見城市スポーツ少年団事務局へ提出すること。メールでもLINEでも可
tomitai02@tomitaikyuu.org
8. 参 加 資 格 (1) 豊見城市に住所を有し、豊見城市内の小学校に在学している4年生以下の児童で構成し、豊見城市スポーツ少年団に加入しているチーム(2022年度豊見城市スポーツ少年団負担金を納付しているチーム)。
(2) 2022年度スポーツ安全保険に加入しているもの。
※未提出のチームは、申込み時に、保険加入書の写しを提出。
(3) 参加チームは、1チームとする(2チームの参加できない。)
9. 参 加 料 参加料1,000円を、豊見城市スポーツ少年団事務局へ納付すること。
※抽選会及び監督会終了後に徴収します。
10. チーム編成 チーム編成は、原則として自治会別とする。
但し、自治会でチーム編成できない場合、又は監督同士が同意した場合は、その限りではない。
 - 1 1. 監督会及び抽選会 令和4年5月31日(火)午後7時00分
豊見城市社会福祉センターレク室※抽選会は、監督・主将のみ参加すること。
 - 1 2. 表 彰 優勝、準優勝及び3位のチームに賞状を授与する。
 - 1 3. 運 営 方 法 豊見城市スポーツ少年団野球部各チームでの大会自主運営とする。
(但し決勝リーグは事務局対応で運営する。)
 - 1 4. 派 遣 優勝チームは、島田杯争奪沖縄県学童軟式野球大会に推薦する。

15. 試合方法
- (1) 試合方法は、全試合リーグ方式とし、5回までとする。
5回終了して同点の場合は、6回から特別延長戦を2回まで行い、
なお、同点の場合は、抽選を行う。
なお、決勝ブロックは各A～Cブロックの1位による組合せ抽選を行う。
 - (2) 試合時間制限は、1時間30分とする。
なお、1時間30分を超えて同点の場合は、新しい回には入らず直ちに
タイブレイク方式とする。なお、2イニングを完了しても決着がつか
ないときは抽選を行う。

※タイブレイク方式（特別延長戦）

継続打順で、前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁走者とする。
すなわち、0アウト一塁・二塁状態にして、投手の投球制限を遵守の上、勝敗が決する
まで続行する。

- (3) 同率で並んだ場合は得失点差にて順位を決める。
(但し均等回にて試合を成立とする)
- (4) 試合開始時間は、主審の試合開始合図（プレイボール）からとする。
- (5) 得点差によるコールドゲームは3回以降で10点差とする。
- (6) 5回以前で試合が中止の場合は、本部の指定した日時、場所において、
継続試合を行う。
- (7) アピール権は監督及び当該選手に限り許される。
- (8) 監督会、抽選会及び開会式に参加しないチームは失格とする。
- (9) 開会式には、登録された選手が参加すること。
- (10) 使用球は、(公財)全日本軟式野球連盟公認球内外ゴムJ号とし、大
会本部で準備する。
- (11) 本大会は2022年度公認野球規則により行う。
また、全日本軟式野球連盟学童野球に関する事項を適用する。
- (12) メンバー表はなしとする。
- (13) 選手間の試合中でのタイムは、1試合3回までとする。
- (14) 交流大会のため、野球をするにふさわしい服装とします。
- (15) 1イニングに10点入った場合はチェンジとなる。(10点ローカルル
ール)(但しインプレー中の最後のランナーの得点までは認められる)
- (16) マウンドからホームプレート間の距離は14メートル、
塁間21メートルとする。
- (17) 守備の時間が長い場合(概ね20分)には、健康維持を考慮し、審判員
の判断で給水タイムを設けることとする。(但し、給水タイムは試
合時間に含めない。)
- (18) 投手の投球制限については、肘・肩の障害防止考慮し、1人の投手
は、1日60球以内を投球できる。試合中に60球に達した場合、その
打者が打撃を完了するまで投球できる。
- (19) 捕手、控え捕手は、ファウルカップを着用すること。